

令和7年度
台東区地域包括支援センター事業計画書

	センター名	ページ
1	あさくさ地域包括支援センター	1
2	やなか地域包括支援センター	3
3	りゅうせん地域包括支援センター	5
4	くらまえ地域包括支援センター	7
5	まつがや地域包括支援センター	9
6	たいとう地域包括支援センター	11
7	ほうらい地域包括支援センター	13

令和 7 年度 [あさくさ] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 フレスコ会 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	相談業務の中で、ご家族等から「地域包括支援センターがどのようなことをしてもらえるかが分からなかった」との声が多く聞かれた。
②	認知症総合支援事業	認知症を患っても、住み慣れた家で生活が続けられるようなきめ細かな情報発信や介護者側への支援が行き届いていない。「情報発信」と「交流の場」を整備する必要性がある。
③	総合相談支援業務	複雑な課題をかかえている方が増えている。今後の地域包括支援センターとして重層的な支援が求められていることから、世代を超えた相談ができる窓口として活動できるよう準備を進めていく必要性がある。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	身近な相談窓口として地域包括支援センターを知つもらう。	計画	各500部配布
		報告	担当するエリアの区民に対して広報誌を年2回配布する。また、賃貸物件の大家さん・マンション管理人さんへ向けても年2回手渡しを行い顔のみえる関係づくりを行う。
②	認知症カフェ及び家族介護者支援の会を開催	計画	隔月開催年6回
		報告	認知症カフェ（まちなかカフェあさくさ）の単独開催を行い、地域住民にとって身近な物忘れの相談窓口であることを知つもらう。また家族介護者支援についても、関係機関と連携を行い交流の場を開催していく。
③	多世代交流サロン「ここからあさくさ」の開催	計画	隔月開催年5回
		報告	世代を超えて地域住民同士が繋がり合える場を整備する。体操や講話等を通して自助・共助の力を高めていく。また、日本堤子ども家庭支援センター等の関係機関と協力し、ヤングケアラー等の早期発見もしていきたい。令和7年度は6回を予定（隔月おき）

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和6年度	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							介護予防ケアマネジメント※1	令和7年度	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							介護予防ケアマネジメント※2		
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士					社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士	その他		
1	常	40			○	○		○		9	○	○	1	常	40		○	○	○	○	10	○	○
2	常	40	○		○	○	○			8	○	○	2	常	40	○	○	○	○	○	9	○	○
3	常	40		○						1	○	○	3	常	40		○	○	○		2	○	○
4	常	40	○			○				1	○	○	4	常	40	○					2	○	○
5	常	40					○			1			5	常	40		○	○	○	○	2	○	○
6	常	40			○		○			1	○	○	6	常	40		○	○	○	○	2	○	○
7	常	40	○			○	○	○		6	○	○	7	常	40	○	○	○	○	○	7	○	○
8													8										
9													9										
10													10										

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 7,306人 (令和7年1月1日時点)

あさくさ 地域包括支援センター

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）									
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
地域ケア 個別会議	計画 令和6年度は親族のいない単身高齢者の相談や安否確認等の対応が多かったことを踏まえ、令和7年度は単身高齢の方をケースとして取り上げ、個別課題の発見、社会資源の発掘につなげていく。	2回				①準備・開催・報			②準備・開催・報			①モニタリング
主催 報告												
見守り ネットワーク 地区連絡会	計画 前年度の見守り地区連絡会の実績から、ヤングケアラーに対する興味・関心が高いことが分かった。その為、令和7年度も同じテーマで開催し、関係協力機関との連携を強化する。 また、地域住民をはじめとした顔なじみの関係を作り、ネットワークの強化も目指していく。	2回				①準備・開催・報告			②準備・開催・報告			
主催 報告												
広報誌 「えがおいっぱい浅草」発行	計画 見守り関係機関・地域住民向けに地域包括支援センターの周知とネットワークづくりの為に年2回配布を行う。特につながりの希薄化がみられるひとり暮らしの方への配布を強化する。	2回 各500部		①準備・発行				②準備・発行				
主催 報告												
見守り事業の 促進	計画 ハローライト事業について、見守りが必要な高齢者に、積極的に事業の活用を促し、見守りの強化や事業の効果的な運用を図る。	通年 5人										
実施 報告												
多世代交流サロン 「ここからあさくさ」	計画 まちかどカフェあさくさ（認知症カフェ事業）と連携し、参加者の心身の健康増進を目的に体操教室や家族介護者教室も行えるように準備を進めしていく。	5回 (延べ 50人)		①準備	準備	開催	②準備	開催	準備	開催	準備	開催
主催 報告												

◇ケアマネジャー支援 エリア内の居宅介護支援事業所数： 12カ所 介護支援専門員数： 35名 (令和7年1月1日時点)

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）									
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
ケアマネ ジャーの集い	計画 ケアマネジャーが民生委員や医療機関などとのつながりや相互理解を深めることを目的とした事例検討会等を開催する。（※内2回は7包括合同開催）	4回			①準備・開催・報告			③準備・開催・報告			④7包括合同	
報告												

<認知症総合支援事業>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）									
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
認知症カフェ (まちかどカフェ あさくさ)	計画 令和7年度からあさくさ地域包括支援センター単独で開催。隔開催で開始し状況を見て毎月開催を目指す。民生委員や町中にある薬局にチラシを置いていただき、普及啓発を強化したい。	6回 (延べ60人)				①			②			⑥
主催 報告												
認知症 サポートー 養成講座	計画 地域住民・町会・一般企業に対し認知症の普及啓発を行っていく。エリア内に大規模な仲見世商店街があるので令和7年度は商店街を中心として活動をしていきたい。	10名程度										
主催 報告												
認知症初期集中 支援推進事業	計画 事業の構成メンバーとして、対象者の把握から初期集中支援の実施を通し、適切な支援につなげていく。	1事例										
実施 報告												
認知症の普及・ 啓発活動	計画 「認知症月間」に合わせて認知症の普及・啓発活動を行う。令和7年度は施設内外でのチラシ・パネル展示の設置を重点的に行う。											
主催 報告												
項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）									
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1

令和 7 年度 [やなか] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	独居で認知症が進行した方の相談が増えており、在宅生活を維持するために地域での見守りが必要になってきている。
②	権利擁護業務	虐待のリスクが高いが、サービス拒否等により早期介入できないようなケースがある。
③	総合相談支援業務	機能低下による相談件数が増加している。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組	
①	高齢者が地域で暮らし続けられるようにネットワークの強化	計画	見守りサポート養成講座や認知症サポート養成講座等を実施し、関係機関以外にも見守りに携わる方を増やし、気になる高齢者に早期介入できるネットワークづくりを行う。	
			報告	
②	虐待リスクの高いケースへ早期介入する	月1回	精神疾患や認知症、経済的な理由、訪問拒否等によりサービスにつながらないケースに早期介入する方法、進捗状況を毎月職員会議で検討し、区役所などと話し合うことにより虐待の未然防止を図る。	
			報告	
③	新規相談の経過確認と早期介入により機能低下防止につなげる	計画	新規ケースの相談内容を職員間で共有し、その後の経過を確認し適切な支援につなげていく。	
			報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和6年度 No.	常勤 (常) ・ 非常勤 (非)	週の勤務時間 (残業除く)	資格 (持っているもの全てに○)						包括実務経験年数 ※1	包括的支援業務 ※2	介護予防ケアマネジメント ※2	令和7年度 No.	資格 (持っているもの全てに○)						包括実務経験年数 ※1	包括的支援業務 ※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士					社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士		
1	常	40	○			○		○	13	○	○	1	常	40	○			○	○	14	○
2	常	40			○			○	18	○	○	2	常	40		○	○	○	○	10	○
3	常	40	○	○		○		○	9	○	○	3	常	40	○					6	○
4	常	40	○						5	○	○	4	常	40				○	○	8	○
5	常	40			○			○	7	○	○	5	非	32				○	○	9	
6	非	32			○			○	8	○	6	非	21				○	○	3		
7	非	21			○			○	2	○	7										
8											8										
9											9										
10											10										

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 4,197人 (令和7年1月1日時点)

やなか 地域包括支援センター

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア 個別会議	計画 個別課題のあるケースについて、地域住民や専門職等が集まり、お互いの立場を理解しながら課題解決や支援方法を検討する。	2回			①				②					
					準備・開催				準備・開催		評価	①		
主催	報告													
見守り ネットワーク 地区連絡会	計画 包括圏域内の現状や実績報告を行い、事例検討を通じて地域課題について検討する。支援が必要な人が声をあげやすい様に、民生委員や関係協力機関等と相互に連携しながら、円滑な関係づくりを継続していく。	2回	①				②							
			準備・開催	報告	①		準備・開催	報告	②					
主催	報告													
広報誌の発行 ・ホームページの活用	計画 包括の周知、介護保険制度や介護予防の啓発など年2回テーマに沿って広報誌を作成し、関係協力機関、マンション管理人、金融機関、医療機関等へ配布する。法人のホームページでは行事のお知らせ等を隨時掲載する。	2回配布 ホームページ	広報①				②							
			年間通じてホームページ更新											
主催	報告													
出前講座	計画 町会の集まりや高齢者が集まる場などに積極的に出向き、地域包括支援センターの役割や消費者被害の防止、介護予防などの情報提供を行う。	通年	①				②							
			出張できることを周知し、依頼に応じて随時対応											
共催・主催	報告													

◇ケアマネジャー支援 エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数 9名 (令和7年1月1日時点)

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネ ジャーの集い	計画 区内・隣接区のケアマネジャーと事例検討会や勉強会を通して、地域資源の共有等を行う。また各専門職との連携強化を目的とした7包括合同の研修会を開催する。	4回	①				③							
			合同	②	合同	④								
共催・主催	報告													
	計画													
	報告													

<認知症総合支援事業>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症力フェ (カフェやな か)	計画 【土田病院（精神科）】参加者が気軽に交流を図る事ができるように、土田病院スタッフ・地域住民・当事者・認知症センターと協力して、プログラムを検討する。また、家族介護者同士が悩みや不安を共有できる場所づくりを検討する。	6回 60人 (延べ)	①	②	③	④	⑤	⑥						
			年間を通じて周知											
主催・共催	報告													
認知症 センター 養成講座	計画 気軽に参加できるように、町会や地域住民、関係機関、マンション管理人、企業等へ養成講座の内容をわかりやすく周知する。また少人数開催の依頼にも対応していく。受講したセンターが地域で活動できるように認知症力フェや出前講座等の協力依頼を呼びかけて、共に認知症に理解のある地域づくりを行っていく。	2回 以上	①	②	③	④	⑤	⑥						
			年間を通じて周知											
主催	報告													
認知症初期集 中支援推進事 業	計画 初期集中支援チームの一員として、事業の対象となるケースを選定して、関係機関と連携しながら適切な支援に繋げていく。	1ケー ス 以上	①	②	③	④	⑤	⑥						
			年間を通じて周知											
実施	報告													
認知症の実態 把握・早期対 応	計画 認知症の疑いがある高齢者を早期に発見するため、マンションの管理人や民生委員、地域住民、飲食店等と顔の見える関係性を構築し、相談や連絡が包括入りやすくなるようにしていく。	通年	①	②	③	④	⑤	⑥						
			年間を通じて周知											
実施	報告													

<計画外の取組>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													

令和 7 年度 [りゅうせん] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	移転に伴い新たな包括センターの周知と地域住民等との連携強化が必要。
②	認知症総合支援事業	独居で認知症状があり迅速な対応が必要な高齢者に関する相談が増加。
③	介護予防 ケアマネジメント	移転に伴い包括センター主催の介護予防事業の啓発活動について更なる周知が必要。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組	
①	新たな地域包括支援センターの周知活動をおこない住民等が気軽に相談できるようにする。	計画	広報誌やホームページを活用するとともに多人数が集まるイベント等に積極的に参加し包括センターPRする。	
		報告		
②	認知症の高齢者の健康や生活が破綻しないよう迅速に対応する。	計画	介護、医療、権利擁護サービスを迅速に提供できるようケアマネジヤーや関係機関と密に協力・連携していく。	
		報告		
③	既存の介護予防啓発活動をさらに周知し介護予防の拠点である竜泉福祉センターとの相乗効果を目指す。	計画	竜泉福祉センター内にも包括の介護予防事業を掲示してもらい、竜泉福祉センターを利用する高齢者や地域住民に広くPRし、気軽に集えて相談できる場として多くの方に足を運んでもらうようにする。	
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和 6 年 度 No.	常勤 (常) ・ 非常勤 (非)	週の勤務時間 (残業除く)	資格 (持っているもの全てに○)						包括実務経験年数 ※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和 7 年 度 No.	資格 (持っているもの全てに○)						包括実務経験年数 ※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士		
1	常	40	○		○			○	10	○	○	1	常	40	○		○	○	11	○
2	常	40		○	○	○	○		9	○	○	2	常	40		○	○	○	10	○
3	常	40	○						9	○	○	3	常	40	○				10	○
4	常	40	○				○		1	○	○	4	常	40	○		○		2	○
5	常	40	○						1	○	○	5	常	40	○				2	○
6	非	22				○		○	3	○	○	6	非	22			○	○	4	○
7	非	40			○			○	2	○	○	7	非	40			○	○	3	○
8	非	32		○					7	○	○	8	非	32		○			8	○
9												9								
10												10								

その他の資格・・・歯科衛生士

その他の資格・・・歯科衛生士

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 6,263人（令和7年1月1日時点）

りゅうせん 地域包括支援センター

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域ケア 個別会議	計画	個別課題について、地域住民や専門職等が参加し、課題解決への支援方法を検討する。また地域課題の発見へつなげていく。	2回				①					②			
主催	報告														
見守り ネットワーク 地区連絡会	計画	関係機関と顔の見える関係づくりを通して、見守り事業の連携強化を図る。また事例検討を通じ、効果的な見守りの方法を共有し、見守り体制の充実を図る。	2回	①							②				
主催	報告														
包括支援センタ ーの周知活 動	計画	広報誌の配布やホームページの活用、ラジオ体操でのPR活動、竜泉福祉センターでの掲示、熱中症注意喚起、出前講座等により地域包括支援センターの業務を周知し気軽に相談できるようにする。	広報誌3回、 ラジオ体操2回、 ホームページ適宜更新	ホームページ更新											
				①広報誌	②広報誌	③広報誌	①ラジオ体操	②ラジオ体操	②ラジオ体操						
主催	報告														
一般介護予防	計画	介護予防体操を定期開催し、地域住民に介護予防の場を竜泉福祉センターで提供する。健康サポートと一緒に協力し、アプリを使用した健脚度測定会を月1回開催し、歩行状態の確認・健康への意識向上・フレイル予防を図る。	12回	みのわ介護予防体操・健脚測定会											
主催	報告														
通いの場	計画	住民主体で運営している通いの場「ほっこり会」（改築場にて開催）の住民主体の運営を目指し、後方支援を継続する。また100歳体操（たなかスポートプラザにて開催）の継続運営のための後方支援も引き続き行い、地域住民との連携を行う。	通年												
参加	報告														

◇ケアマネジャー支援 エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数 27名（令和7年1月1日時点）

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネ ジャーの集い	計画	ケアマネジメントに必要な知識の習得や事例検討会を通じケアマネジャーの横のつながりや情報交換ができるような場の提供を行う。	4回	①				③合同			④合同			
主催・共催	報告													

<認知症総合支援事業>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ (喫茶YOU)	計画	【台東病院】認知症に関する知識や様々な情報提供・啓発や認知症当事者や家族介護者の交流を目的とし、台東病院と連携協力し開催する。カフェの運営にはボランティアの協力も得て行う。台東病院内、みのわ包括窓口等で広くPRし気軽に参加できるようにする。	6回 120人	①	②	③	④	⑤	⑥					
家族介護者の 会(みのわカ フェ)	共催	認知症当事者や家族介護者が気軽に集い、交流・相談できる場を提供する。認知症デイサービスや地域機関と協力しながら開催していく。	5回 50人	①	②	③	④	⑤						
認知症の知識 等の普及啓発 (認知症サポー ター養成講座・ 出前講座等)	計画	町会、学校、老人会、企業等に案内をおこない、サポートー養成講座や出前講座を実施する。9月の認知症月間に施設内でパネル展示をおこない認知症の正しい知識や最新の情報等を提供し普及啓発をおこなう。	サポートー講座・出前講座各年2回以上、 パネル展示	①出前講座	②出前講座	③パネル展示	④サポートー講座①	⑤サポートー講座②						
認知症初期集中 支援推進事業	計画	認知症の疑いのある方に対して実態把握を迅速に行い医療機関や介護サービス、権利擁護事業等につなげ、安心して生活ができるように支援する。	1ケース											

<計画外の取組>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
報告														

令和 7 年度 [くらまえ] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	新築の集合住宅の増加に伴い高齢者の実態把握が困難
②	認知症総合支援事業	若年層や働く現役世代に対して認知症や見守りに関する周知の機会がない
③	生活支援体制整備事業	地域住民主体の活動の場が少ない

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	新規相談の経過確認と早期アプローチの実施	計画	一 新規申請結果後の聞き取りを行い、ニーズに応じた情報提供を行う。また、新たな集合住宅の管理会社との関係を構築する。
		報告	
②	認知症に関わる事業や活動への参加を促し、活動の場を拡げていく	計画	一 認知症カフェの土曜日開催、若年層や働く世代に向けた認知症に関する講座を開催する。
		報告	
③	地域住民が主体となる活動の場の支援を行う	計画	1 社会福祉協議会（生活支援コーディネーター）や地域住民と協力し、多世代が交流できる活動の場の立ち上げ支援を行う。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和6年度 No.	常勤 (常) ・ 非常勤 (非)	週の勤務時間 (残業除く)	資格 (持っているもの全てに○)						包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和7年度 No.	常勤 (常) ・ 非常勤 (非)	週の勤務時間 (残業除く)	資格 (持っているもの全てに○)						包括実務経験年数 (年)※1	包括的支援業務※1
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士	その他		
1	常	40				○		○	0	○	○	1	常	40			○	○	○	1	○
2	常	40	○		○	○		○	13	○	○	2	常	40	○		○	○	○	14	○
3	常	40	○						2	○	○	3	常	40	○					3	○
4	常	40				○			8	○	○	4	常	40			○			9	○
5	常	40			○	○			9	○	○	5	常	40			○	○		10	○
6	非	40				○		○	8		○	6	常	40	○		○	○		19	○
7	非	40	○			○			0	○	○	7	非	40	○			○		1	○
8												8									
9												9									
10												10									

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 7,348人（令和7年1月1日時点）

くらまえ 地域包括支援センター

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画 個別の課題について、地域住民や専門職等が参加し、情報共有や支援方法を検討。地域課題の発見につなげる。	2回			↔	①		↔	②					
					準備	開催			準備	開催		評価	①	
主催	報告													
見守りネットワーク地区連絡会	計画 見守り連絡会を開催することで関係機関との関係を円滑にし、見守りネットワークを強化する。	2回		↔	①					↔	②			
				準備	開催					準備	開催			
主催	報告													
一般介護予防事業	計画 一般介護予防事業の周知・勧奨の実施及びフレイル予防・健康寿命の延伸の意識づけのため、くらまえ体操教室を開催する。	11回 (延べ50名)	①	②	③			④	⑤	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
共催・主催	報告													
出張相談（えがおの集い）	計画 老人福祉館で地域の高齢者の生活に役立つ講話と出張相談を実施。必要に応じ介護認定や介護サービス、その他社会資源へつなぐ。	講話年4回。 出張相談毎月。				出張相談								
			①	開催	↔	②		↔	③		↔	④		↔
共催	報告					準備	開催	準備	開催	準備	開催	準備		
地域包括支援センター機能の周知	計画 広報紙（年に2回以上発行）や地域に向けた出前講座を開催し、地域包括支援センターの機能を周知するとともに高齢者の健康や介護に関する情報報を発信する。	2回 200部		↔	①				↔	②				
				準備	發行				準備	發行				
主催	報告													

◇ケアマネジャー支援 エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数 32名（令和7年1月1日時点）

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャーの集い	計画 介護支援専門員の質の向上を図る為、事例検討会や各種研修会を開催する。又、専門職との相互理解・連携を強化するための研修会や交流会を開催する。	4回	↔	①			↔	③		↔	④			
					準備	7包括共催				準備	7包括共催			
主催・共催	報告													

<認知症総合支援事業>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症力フェ（くらまえカフェ）	計画 毎月開催。6回は東京トータルライフクリニックと共に。案内通知を毎月発送し、申込制限無く受入れていく。講演やイベント等を企画し、交流や談話を通じ理解を深める。ボランティアの協力も得ながら、新規の参加者を開拓する。	12回 (6回は共催)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
主催・共催	報告													
認知症サポーター養成講座	計画 認知症に対する理解を深めるため、地域住民・企業・学校等に普及啓発活動を行う。認知症サポーター養成講座の他、出前講座や出張相談を実施する。サポーターのフォローアップやボランティアとの交流・活動内容の検討・実施を進め、活躍の場を広げる。	2回以上												
主催	報告													
認知症高齢者の早期発見・早期対応	計画 認知症高齢者の早期発見のため、日頃から地域との連携強化に努める。認知症の疑いのある高齢者の実態把握・必要に応じた個別支援を行う。	通年												
認知症初期集中支援推進事業	計画 事業の対象と思われるケースについて、把握した対象者を初期集中支援の実施を通して、早期に適切な支援へ繋げていく。また、早期発見・早期対応ができるよう関係機関の連携を強化する。	1ケース以上												
実施	報告													

<計画外の取組>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
報告														
報告														

令和 7 年度 [まつがや] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

①	認知症総合支援事業	地域住民への認知症に対する情報の提供及び理解を深める機会が不足している。
②	総合相談支援業務	単身の高齢者が多いため、地域での見守りネットワークの強化が急務である。
③	介護予防 ケアマネジメント	認定後、適切なサービスに繋がらない高齢者の体力及び気力低下の予測が必要である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	認知症の普及啓発	計画	4回 自治会、集合住宅、見守り協力機関、サロン等の会合に積極的に出向き、認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクターの周知を図るなど、認知症の普及啓発をするとともに、認知症高齢者を身近に感じてもらえるよう関係性の構築に努める。
		報告	
②	見守りサポート体制の強化	計画	— 民生委員、地域支援コーディネーター等との更なる連携を図り、積極的な情報の共有、サポート体制等の構築、地域との交流を深める。
		報告	
③	フレイル高齢者を早期発見する	計画	— 要支援認定者リストを活用し、その後の経過を確認とともに、継続的に必要な支援を提案する。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和 6 年 度 No.	常勤 (常) ・ 非常勤 (非)	週の勤務時間 (残業除く)	資格 (持っているもの全てに○)						包括 実務 経験 年数 ※1	介護 予 防 ケ ア マ ネ ジ メ ン ト ※2	令和 7 年 度 No.	資格 (持っているもの全てに○)						包括 実務 経験 年数 ※1	介護 予 防 ケ ア マ ネ ジ メ ン ト ※2			
			社会 福 祉 士	保 健 师	看 护 师	主任 介 护 支 援 专 门 员	介 护 支 援 专 门 员	精神 保 健 福 祉 士	介 护 福 祉 士	その 他	社会 福 祉 士	保 健 师	看 护 师	主任 介 护 支 援 专 门 员	介 护 支 援 专 门 员	精神 保 健 福 祉 士	介 护 福 祉 士	その 他				
1	常	40			○	○		○	1	○	○	1	常	40			○	○	○	2	○	○
2	常	40	○	○	○				16	○	○	2	常	40	○	○	○	○		17	○	○
3	常	40	○			○	○	○	9	○	○	3	常	40	○		○	○	○	10	○	○
4	常	40			○		○	○	15	○	○	4	常	40			○	○	○	16	○	○
5	常	40	○			○	○	○	9	○	○	5	常	40	○		○	○	○	10	○	○
6	常	40			○	○		○	5	○	○	6	常	40	○		○	○	○	6	○	○
7	非	32			○	○		○	12	○	○	7	非	32			○	○	○	13	○	○
8	非	32	○			○	○		4	○	○	8	非	32	○		○	○	○	5	○	○
9												9										
10												10										

その他の資格・・・

4 幼稚園教諭 2 級 6 管理栄養士

その他の資格・・・

4 幼稚園教諭 2 級 6 管理栄養士

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 8,044人（令和7年1月1日時点）

まつがや 地域包括支援センター

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画	個別の課題を抽出し、その方らしい生活が送れるよう、地域住民、関係機関との情報の共有を図っていく。	2回				①		モニタリング	②		モニタリング		
	報告													
見守りネットワーク地区連絡会	計画	見守りネットワーク関係協力機関との顔の見える連携を強化するとともに、様々な事例を通して、課題を抽出し、課題解決のため、共有・検討する。	2回			①			②					
	報告													
出前講座	計画	高齢者の集まる機会に参加し、地域包括支援センターの周知に努めるとともに、介護予防、生活に役立つ情報を提供していく。	6回	①	②	③	④	⑤	⑥					
	報告													
見守り活動	計画	スーパー、コンビニ、喫茶店等への見守り活動、見守りサポートー養成講座の周知に努めるとともに、顔の見える関係性を構築していく。	4回	①	②	③	④							
	報告													

◇ケアマネジャー支援 エリア内の居宅介護支援事業所数： 11カ所 介護支援専門員数 34名（令和7年1月1日時点）

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャーの集い	計画	事例の検討、地域資源の共有等を図るとともに、研修を実施し、ケアマネジャーの資質向上、専門職との相互理解及び連携を強化していく。	4回		①		合同	②		③		合同	④	
	報告													
	計画													
	報告													

<認知症総合支援事業>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ（オレンジカフェ）	計画	東京都認知症疾患医療センター（永寿総合病院）主催のオレンジカフェ（とびらープロジェクト）に、引き続き協力するとともに、認知症疾患センターとの連携の更なる強化を図り、オレンジカフェに参加される方々への支援に繋げていく。	6回		①		②		③		④		⑤	⑥
	報告													
認知症サポーター養成講座	計画	認知症の方、その家族を支える方々への知識を深めるための講座を開催するとともに、集合住宅、区民施設等へのサポーター養成講座、ミニ講座等の広報活動を実施していく。	4回		①		②		③		④			
	報告													
認知症カフェ（ほっとルーム）	計画	認知症の方、その家族を支える方々の交流できる機会を提供するとともに、認知症であっても住みやすい街作りを目指していく。	6回		①		②		③		④		⑤	⑥
	報告													
認知症初期集中支援推進事業	計画	認知症の疑いのある方に対し、迅速に実態の把握をするとともに、医療機関、介護サービス、権利擁護事業等に繋げる支援を実施していく。	1事例以上									①		
	報告													
認知症の普及・啓発活動	計画	認知症月間（9月）に合わせてパネルを作成し、認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクターの周知を図るなど、普及啓発活動に取り組んでいく。										①		
	報告													

<計画外の取組>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	計画													
	報告													

令和 7 年度 [たいとう] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 健修会 】

◇今年度の重点課題

①	介護予防 ケアマネジメント	包括主催の介護予防教室の運営を行っていない。
②	地域ケア会議推進事業	R6年度の地域ケア個別会議（困難事例）は包括が関わった事例であり、地域のケアマネジャーからの相談によるものがなかった。
③	生活支援体制整備事業	リハビリ専門職によるシルバーカーの使い方講習会など社会福祉協議会や地域の関係機関、団体などとの連携が求められている。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	東上野・元浅草エリアで高齢者が通える場所づくりに取り組む。	計画 1カ所以上	地域包括支援センター主催または住民主体等、地域性やメンバーの特性など考慮しながら介護予防等に取り組める身近な場所づくりを1カ所以上新たに開設する。
		報告	
②	地域ケア個別会議（困難事例）を開催する。	計画 2ケース以上	地域ケア個別会議で検討し、課題解決につながる事例をつくることで、地域のケアマネジャーにとって頼れる存在になるよう、地域ケア個別会議の目的や活用方法など積極的に周知する。
		報告	
③	リハビリ専門職によるシルバーカーの使い方講習会を通じ、地域の連携を強化していく。	計画 1回以上	社会福祉協議会の生活支援コーディネーターとより連携を図り、高齢者や介護者等が身近な場所で地域住民や関係機関（専門職）とかかわりが持てる地域づくりをすすめていく。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

*1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
*2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和 6 年 度 No.	常勤 (常) ・ 非常勤 (非)	週の勤務時間 (残業除く)	資格 (持っているもの全てに○)						包括実務経験年数 ※1	介護予防ケアマネジメント ※2	令和 7 年 度 No.	資格 (持っているもの全てに○)						包括実務経験年数 ※1	介護予防ケアマネジメント ※2			
			社会 福 祉 士	保 健 师	看 護 师	主任 介 護 支 援 専 門 员	介 護 支 援 専 門 员	精神 保 健 福 祉 士				社会 福 祉 士	保 健 师	看 護 师	主任 介 護 支 援 専 門 员	介 護 支 援 専 門 员	精神 保 健 福 祉 士	介 護 福 祉 士	その 他			
1	常	40		○					0	○	○	1	常	40	○		○	○	○	11	○	○
2	常	40	○			○	○	○	10	○	○	2	常	40		○	○	○	○	1	○	○
3	常	40			○	○		○	0	○	○	3	常	40		○	○	○		17	○	○
4	常	40		○	○		○		16	○	○	4	常	40		○	○			1	○	○
5	常	40		○	○				0	○	○	5	常	40	○					1	○	○
6	常	40	○					○	2	○	○	6	非	40		○	○	○		3	○	○
7	常	40	○						0	○	○	7										
8	非	40			○	○			2	○	○	8										
9												9										
10												10										

その他の資格 . . .

その他の資格 . . .

◆年間計画表

エリア内の高齢者人口： 5,359人（令和7年1月1日時点）

たいとう 地域包括支援センター

＜ケアマネジャー支援 エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数 28名（令和7年1月1日時点）

〈認知症総合支援事業〉

たいとう 地域包括支援センター

＜計画外の取組＞

令和 7 年度 [ほうらい] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 清峰会 】

◇今年度の重点課題

①	総合事業の推進に関する事業	地域に気軽に参加できる介護予防教室の場が少ない。
②	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	地域のケアマネジャーにインフォーマルサービスが周知されていない。
③		

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	包括主催の介護予防に関する教室や場を啓発していく	計画	1回 包括が主体となって行う介護予防の場や教室をほうらい地区内で開催する。
		報告	
②	主任ケアマネが地域の体操教室に参加する。	計画	1回 主任ケアマネの分科会を通して、ほうらい地区の体操教室に参加してもらえるように働きかける。
		報告	
③		計画	
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和6年度 No.	常勤 (常) ・ 非常勤 (非)	週の勤務時間 (残業除く)	資格 (持っているもの全てに○)						包括実務経験年数 (年) ※1	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和7年度 No.	資格 (持っているもの全てに○)						包括実務経験年数 (年) ※1	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2		
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士		介護福祉士	その他		社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士	その他			
1	常	40	○		○				11	○	○	1	常	40	○			○			12	○	○
2	常	40	○		○	○	○	○	10	○	○	2	常	40	○		○	○	○	○	11	○	○
3	常	40	○					○	5	○	○	3	常	40	○				○		6	○	○
4	常	40		○	○	○			6	○	○	4	常	40		○	○	○			7	○	○
5	常	40				○	○		1	○	○	5	常	40				○	○		2	○	○
6	常	40	○						0	○	○	6	常	40	○						1	○	○
7												7											
8												8											
9												9											
10												10											

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 5,946人（令和7年1月1日時点）

ほうらい 地域包括支援センター

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画 地域住民や家族や本人が直面している健康や福祉に関する問題を共有できる会議を開催する。													
			準備・開催	①	モニタリング・評価	①						②		
主催	報告													
見守りネットワーク地区連絡会	計画 見守り関係者のネットワークの構築と質の高い情報の提供、および地域の課題抽出や解決方法について検討する。9月：情報提供、2月：事例検討	2回 (1回の参加者50名程度)				①	→	準備・開催報告			②	→	準備・開催報告	
主催	報告													
生活支援体制整備事業	計画 住民主体の通いの場（富士の湯、都営アパート）に加え、近隣の高齢者が気軽に立ち寄り参加できる介護予防教室の再開を図る。	適宜 (1回の参加者10名程度)						適宜						
参加	報告													
	計画													
	報告													

◇ケアマネジャー支援 エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数 6名（令和7年1月1日時点）

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャーの集い	計画 地域のケアマネジャーと協力して、事例検討や情報交換の場を提供していく								単独①			単独③		
									合同②			合同④		
主催	報告													
地域連携をすすめる会	計画 ほうらい地区のNPO法人と協力して、地域の情報や連携の場をケアマネや医療機関に提供していく				①事務局会 2ヶ月1回									
					②運営員会 2ヶ月1回									
共催	報告													

<認知症総合支援事業>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症力フェ（あさがお力フェ）	計画 【浅草病院】認知症の本人、家族、地域住民が気軽に参加できる場を浅草病院と共に運営する。区民館での開催を中心に、地域の寺院や飲食店など、住民に身近な場所での実施を進めていく。	6回 参加者60名（延べ）												
			①	②	③	④	⑤	⑥						
共催	報告													
認知症サポーター養成講座	計画 地域住民や企業など様々な人に向けて、認知症サポーター養成講座や出前講座を実施する。9月の認知症月間に合わせて啓発活動を行う。認知症の本人が中心となって作成された各種資料を活用する。	3回 参加者40名（延べ）												
			認サボ①	啓発活動	認サボ②									
主催・共催	報告													
認知症初期集中支援推進事業	計画 認知症の困難事例を推進員と他の職員で情報共有し、積極的に事例選定を行う。チーム員として訪問支援を行い、医療・介護サービスにつなげていく。	1ケース以上												
			①											
認知症家族介護者教室・交流会	計画 認知症家族介護者を対象に、精神科医や臨床心理士等と連携し、家族介護者教室を開催する。認知症の人を介護している方と介護経験のある方を对象とした交流会を開催する。	6回 参加者（延べ35人）												
			交流会①	交流会②	交流会③	教室	交流会④	交流会⑤						
主催	報告													

<計画外の取組>

項目	内 容	人數・数量など	取組活動の経過（月）											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													